

議会だより

17号
2023年(令和5年)
6月1日



新議長・新副議長あいさつ 2ページ
 選挙公報(熊谷利治/塩沢道雄) 3ページ
 選挙公報(串原稔博/田中兼次) 4ページ
 選挙公報(竹村宗次/丸山浩子) 5ページ

選挙公報(福沢 敏/宮嶋成子) 6ページ
 選挙公報(熊谷美和子) 7ページ
 下條村議会議員一覧 7ページ
 総務産建委員長・社会文教委員長あいさつ 8ページ

議長あいさつ

申原 稔博



議長就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

この度、5月の臨時議会において、議員の皆さんのご推挙により、歴史と伝統のある下條村議会の議長に就任いたしました。まことに身に余る光栄であり、心から感謝申し上げますとともに、その職責の重さに身が引き締まる思いです。もとより微力ではありますが、歴代の議長並びに議員各位が築きあげてこられた、下條村議会の伝統をしっかりと受け継ぎ、村政の発展と議会の公正な運営に全力で取り組んで参ります。

下條村では、議会議員選挙は5期連続で無投票となり、今回は定数割れという残念な結果でした。議会の活性化のために「議会だより」の発行や定例の「議員全体会議」を開催してきましたが、過去3年間は拡大するコロナウイルス感染症の影響で、村の行事や地域活動は制限されてしまいました。今年の5月8日からは、新型コロナもインフルエンザと同じ5類の扱いとなり、人の行き来も増え、村の行事や地域活動も再開されてきています。

今後は、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通による高速交通網の整備により、人の流れが活発になり、交流人口が増加し、村の経済が活性化することが大いに期待されます。この事を大きなチャンスと捉え、議会では今年度から改編された総務産建委員会と社会文教委員会の、ふたつの各常任委員会の活動をより一層充実させ、幅広い立場の村民の皆様からの意見をお聞きする機会を持ち、毎月開催する「議員全体会議」で議論を深め、これからの村政に反映していきたいと考えています。

私たち議員は、村民を代表する者として議会に出ている訳ですから、村民の皆さんが安全に安心して暮らせる地域づくりや、福祉向上に取組み、この素晴らしい下條村の更なる発展のために努力して参ります。

村民の皆様のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ議長就任の挨拶とします。

副議長あいさつ

竹村 宗次



臨時議会におきまして議員の皆様ご支持によりまして、副議長の要職に就任させていただきます事になりました竹村宗次です。責任の重大さを痛感しているところです。今後は副議長としての職務を遂行すると共に議長の補佐役として村政の推進、議会の公正な運営に努めてまいりたいと思っております。

2年前に設置した議員全体会議を充実し、村が抱える、人口減少、少子高齢化、不登校など課題の解決に努めてまいりたいと思います。臨時議会の村長の挨拶の中で、村が進める7つのプロジェクトについて、議会としても議員間で知恵を出し議論し村政に反映させていきたいと思っています。今年度は下條村の景色も変わってくると思います。第3の居場所の完成、粒良脇トンネルの完成、火沢地区のリニア中央新幹線のトンネル工事の残土の埋め立ての準備工事が始まります。新型コロナウィルス感染症も5類に移行となり、村、公民館が関わるイベント、事業には議員一同積極的に参加し、村民の皆様ご意見や知恵を聞き、下條村の発展と住民福祉の向上を目指し職責を全うする覚悟であります。皆様ご支援、ご協力をお願い申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。



熊谷としはる

この度、皆様方の力強いご支援をいただき、下條村議会議員選挙に立候補させていただきました。

子ども、若者、みんなの声を力に「行動力・実行力」で、元気な地域づくりに全力で取り組み、「ここで子育てしたい」「暮らしたい」と選ばれる地域をめざします。

- 一、子育てが楽しく、安心してできる環境づくり
- 一、子どもからお年寄りまで、生きる喜びが実感できる地域づくり
- 一、防災対策、危険個所の総点検で災害に強い地域づくり
- 一、村の魅力を発信し交流人口の増加で農工商一体の活性化
- 一、日常の買い物利便性向上
- 一、失敗をおそれず「こんなことをやりたい」「あんなことをやりたい」を行動に

皆さまの絶大なご支援をお願いします



塩沢道雄

地域の温かいご支援をいただき、村議選へ立候補しました。皆様と共にあって「暮らしやすい村づくり」をモットーに、アイデアを求め、知恵を絞り、村の明るい未来のため、施策の実現に努めたいと思います。左は私が課題とする抱負です。村の発展のために

下條山脈の観光資源化

尾根沿いの遊歩道の整備をおこない、憩いの場、健康づくりの道とします。村外者の利用も期待できます。

女性の自治活動等参画の推進

議会、区役員など女性の参画を進め、女性の立場からの考えを施策に反映します。

新中原団地に次ぐ、住宅団地の新規造成

本村への移住を加速し、住宅需要に答えたい。

豊かな生活のために

メゾンの住環境の改善、整備

新たに談話室、遊戯室など共有スペースを設け、入居者の福祉の向上を図ります。

道の駅下條の総合マーケット化

買い物と飲食ができる複合施設とし、集客を図り、村民需要に答えたい。

下條村社会福祉協議会の法人化

女性の職場復帰に伴う子育てを支援し、介護高齢者の増加に対応できる行政組織とするためです。

下條村の未来のために 元気のある村づくりを考えませんか



串原としひろ

安心して暮らせる村づくり

- *防災活動への支援の充実と災害に強い地域づくり
- *福祉の充実と誰もが健康に暮らせる地域づくり

*仕事と子育ての両立を支え子育てがしやすい環境整備

元気にする村づくり

- *農業従事者の新しい担い手づくりや特産品の開拓
- *商工業の活性化ための取り組み

*若者が定着し地域が活性化するための取り組み

快適に住める村づくり

- *地域の人と人とのつながりを強くするための活動支援
- *水と緑に囲まれた美しい自然を大切にしました環境づくり

ここに生まれて良かった
ここでずっと暮らし続けたい
そう思えるような村づくりを
進めます



田中けんじ

●コロナ禍の教訓を活かし、新たな村づくりに取り組みます。

●リニア発生土埋立地は村の出入口、景観美備えた活用を図ります。

●共存共栄の村と地区、双方のパイプ役を担います。

●村存続の鍵握るのは若い人、住んでもらえる村を目指します。

●水は住民の生命線、農業用水・水道の維持改善に力を注ぎます。

略 歴

昭和33年12月19日生まれ
 昭和52年3月 阿南高等学校卒業
 昭和54年3月 大東医学技術専門学校卒業
 昭和54年4月 柔道整復師免許取得
 平成3年 田中接骨院開業
 平成21年 下條中学PTA会長



竹村そうじ

私は、住民参画のもと、「知恵を出し、汗をかき、行動し」
今までの議員としての経験を生かし、明るく・元氣あふれる
村づくりのため全力で頑張りたいと思います

私の抱負

- 災害に強く、安心して暮らせる村づくりに取り組みます
- 子育て、教育の充実を図り、
定住人口の増加に取り組みます
- 高齢者の皆さんが安心して暮らせる福祉施策の充実
- 三達南信・リニアの早期開通に向けて、
環境整備の充実に取り組みます

皆様の暖かいご支援を心からお願いいたします。



丸山浩子

隈無く温かい村づくり

①子どもをみんなで見守り育てる村

- 気軽に相談ができ、親が安心して子育てできる施策
の充実
- どの子どもその子らしく学べる場所づくり
- 子どもが地域の中で育つ交流の推進

②誰もが繋がれる居場所のある村

- 一人も孤立させない地域づくり
- ここに来れば誰かに会える、話ができる場所づくり
- 高齢者の知恵を若い人に伝える交流の創出

③男女共同参画の村

- 男女互いの特性を尊重し、違いを認め合って村づくりに
参画
 - 一目外に出ても、特に若い女性が帰ってきたくなる村、
女性が生きやすい魅力ある村の実現
- 元氣のある村にするため、村民の皆さんの声を聞き、
行政に反映できるように精一杯努めます。協働・共生
の温かい村になるように尽力します。

お一人おひとりの想いを大切に 共想のむらづくりを目指します



福沢さとし

かがやき続ける 下條村のために

- 1 **こころ豊かなしもじよっ子が
いきいきと育つ村**
○子どもの意見を取り入れて
未来にかがやく村づくり
- 2 **農工商観光で働く世代が
いきいきと輝く村**
○下條ブランドの拡大推進と
村の魅力発信で働く世代を下條へ
- 3 **生涯現役、シニア世代が
いきいきと暮らす村**
○シニアの暮らしを支える
要望対応型公共交通の推進
- 4 **安心安全で災害に強い
こころが安らぐ村**
○生活に寄り添った
きめ細かな防災減災の推進
- 5 **豊かな自然と文化、美しい風景に
こころがなごむ村**
○美しい下條を未来へ
共想の景観づくりを推進

◆プロフィール

1949年 下條村生まれ 岐阜県高山市育ち 岐阜県立斐太高校卒業
大学で造園を学び、企業で造園の設計施工管理・緑化製品開発を担当
長野県造園施工管理技士会会長、全国一級造園施工管理技士の会副会長を歴任

ひとにやさしく、未来を明るく

10年後 20年後の下條村村民が豊かで幸せであるよう、学び、参加し、行動しよう



宮嶋せいいち

村に活気と賑わいを。

「子育ての村」ブランドを
みがきなおし、商業、
農業、観光に利用。
全国に発信します

困ったときに、すぐに
寄り添い手が差し伸べ
られる。「助けて」
が言える村にします

子どもにも親にも安心を。
子どもは18歳までゆ
っくり学んで生きる力を
育んでほしい。そのため
の環境を整えます

人口減少高齢化社会

の担い手不足を見すえ、
災害への備えに重点をお
いた全員参加型地区組織
のあり方を検討します

詳しくは下記 QR コ
ードよりホームページ
をご覧ください



「ちょっと手を貸し
て」が言える、地域の中
でやさしさを交換できる地
域見守りパートナー制度
をつくります

◎お互いを知る、今を知る。未来のために学び会話できる地域寺子屋をつくります



熊谷 美和子

- こちらに移住して5年余り、動物が好きで来月から、移住の最大の目的、馬との共生でやさしい村づくりの構想があります
 - ▼子どもや高齢者の施設に訪問し馬とのふれあい体験
 - ▼ホースセラピーで心と体のバランスを整え健康増進
 - ▼馬の堆肥利用で土壌改善と循環型農業の実現
 - ▼村の遊休農地の荒廃を防ぐため、馬さん除草手伝い
 - ▼下條村の自然を案内しながらのトレッキング観光と誘致
 - ▼村に雇用を創出する
 - 持続可能な里山のためにSDGs14『海の豊かさを守ろう』15『陸の豊かさを守ろう』に着目し、信州プラスチックスマート運動に取り組み、特に沿道のゴミ拾いの実施と啓発活動をし、ごみの落ちていないキレイな村づくりを目指します
 - 免許を返納しても交通手段がなく困っている方のために環境に配慮したエコバスを導入し、乗り合いバスで食料品の買い物や南信州地域の四季折々の景色をめぐり、ウォーキングも楽しみながらの健康増進、また生鮮食料品店誘致を働きかける
 - デジタル化を推進し、また伝統文化に注力し、国内旅行者やインバンドにも対応できる環境を整える
 - 大規模災害を想定し、村県外においても命を確保する行動と知識を身につける防災対策を強化する
 - 野良猫を地域猫へまた里親探しへの取り組みをする
 - 一年半の里親研修を経て今年、県から里親認定されました。子どもたちを社会や地域で支え、この村ではつらつと成長してくれる子どもたちが増えてくれたらと願います
- 東京での三十年以上の経験と世界三十都市以上を回って得たことを活かして、公明正大かつ信念をもって積極的に活動して参ります。また皆様の思いに報いるためにも、粉骨碎身の気持ちでこの選挙戦を戦い抜く事を誓い、決意表明いたします。

下條村議会議員一覧



議長
総務産建委員
串原 稔博



副議長
議会運営委員長
総務産建委員
社会文教委員
竹村 宗次



総務産建委員長
議会運営副委員長
田中 兼次



社会文教委員長
丸山 浩子



総務産建副委員長
塩沢 道雄



社会文教副委員長
監査委員
福沢 敏



社会文教委員
熊谷 利治



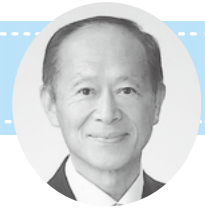
総務産建委員
熊谷 美和子



社会文教委員
宮嶋 成子

総務産建委員長あいさつ

田中兼次



委員長に選任された田中兼次です。よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの分類が5類へと引き下げられました。今後はメリハリのある感染予防を行うなかで社会経済活動の復活が望まれるところです。

村の主力産業である農業や商工業、観光業の経営はコロナ禍、ウクライナ危機による物価高騰などで経営不安が続いています。村と共に各関係団体と連携しながら諸懸案に対応し各産業の持続性と活性化に取り組んで参ります。

村は災害に強い村づくりとして、本年を村土強靱化元年として、今後5年間で重点的かつ計画的に防災・減災対策の推進を図ることとしています。下條村の安心安全な住環境を整え、終の棲家として選択してもらえる村になる事が大切です。

全国的な人口減少傾向はどこの自治体でも待った無しの課題です。村では今年からDXの推進として行政サービスの向上の為「しもじょうS-Navi」の運用を開始しました。村民の皆様、お手持ちのスマートフォンにダウンロードして活用してみてください。今後も更に進化していくと思います。

今後も村の各事業が予算に沿って適正に執行されているか検証、調査し委員会として積極的に村政に関わって参る所存であります。

社会文教委員長として取り組むこと

丸山浩子



社会文教委員長の初仕事は、社会福祉協議会の監査でした。多岐に亘る村民の福祉に関する業務を隈なく遂行している報告を受け、こうした陰の力が村の福祉を支えてくれていることを実感しました。

この4月に、待望のグループホーム「北又の杜」がオープンしました。できるだけ低い負担で利用できるように、村独自の制度を設けています。入所者でなくても村の人たちにどんどん顔を出してほしいと、お誘いがありました。温かい声が聞こえる場所になることを願っております。

国では4月より「こども家庭庁」が発足しました。大人中心の国や社会の形を改め、こどもまんなかにして、子どもの声をよく聞き、子どもの考えや意見を取り入れることを提唱しています。

社会文教委員会では、この新しい機関の根幹となる「こども基本法」を学び、村の子どもたちが幸せに生きられる施策を行政と共に進めていけるように、協議を重ねていきたいと考えます。

B&G財団の設置事業の採択を受け、開設のはこびとなった「こども第三の居場所」の建設が進められています。村では放課後児童クラブの延長の場所として、体験活動を通して大人に見守られて、子どもの生活を豊かにしていくことを大事に考えています。学校でも家庭でもない第三の居場所として、本当に必要な子どもにとって、居心地のよい拠り所となるよう共に知恵を絞りたいところです。

介護、医療、子育てなどの福祉事業に、村民の皆さんの願いや思いが生かされるよう、検証、調査を進め、安心して暮らせる村づくりに、委員会として邁進したいと思います。

編集後記

4月24日、当選証書を受け取り、新人3人、現役6人での令和5年度の議会活動が始まりました。村議会選挙が始まって以来初の定数割れとなってしまうことで、立候補者が多く出るような、魅力ある議会づくりをという宿題を課せられてのスタートとなりました。

新人の3人は、はつらつとしていて、傍にいてもエネルギーが伝わってきます。現役の6人も初心に立ち返って、村のため、村民の幸せのために、もっともっと働こうと決意を新たにしました。

この議会だよりの発行は5年目を迎えました。議会の様子、議員の活動を伝えることを一番のねらいにしてきました。親しみを感じて愛読していただきたくて願ってききましたが、まだまだ道半ばです。課題山積ですが、発想を変え、皆さんに楽しみにしていただけるようなものをお届けしたいと思えます。

女性議員が3人になったことで、男女共同参画が前進しました。男性も女性もお互いの良さを尊重しながら、元氣あふれる村づくりのため、村の皆さんと共に進んでいきたいと思えます。(丸山浩子)

編集委員会

竹村 宗次 丸山 浩子
田中 兼次 熊谷 利治
熊谷美和子 宮嶋 成子